

5 福井市障がい者地域生活支援拠点等事業について

①地域生活支援拠点等とは

拠点等は、障がい者等の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、地域移行を進めるため、重度障がいにも対応できる専門性を有し、地域生活において、障がい者等やその家族の緊急事態に対応を図るものです。

●拠点等に求められるものとして以下の5つの機能があります。

求められる5つの機能

- 相談（地域移行・親元からの自立）
- 緊急時の受け入れ・対応（ショートステイの利便性・対応力向上等）
- 体験の機会・場（一人暮らし、グループホーム）
- 専門的人材の確保・養成（サービス水準の向上、標準化）
- 地域の体制づくり（サービス拠点、コーディネーターの配置等）

5 福井市障がい者地域生活支援拠点等事業について

②本市の地域生活支援拠点等について

□整備類型の変更

■多機能拠点整備型 ※現状の福井市の整備類型（H29～R3年度）

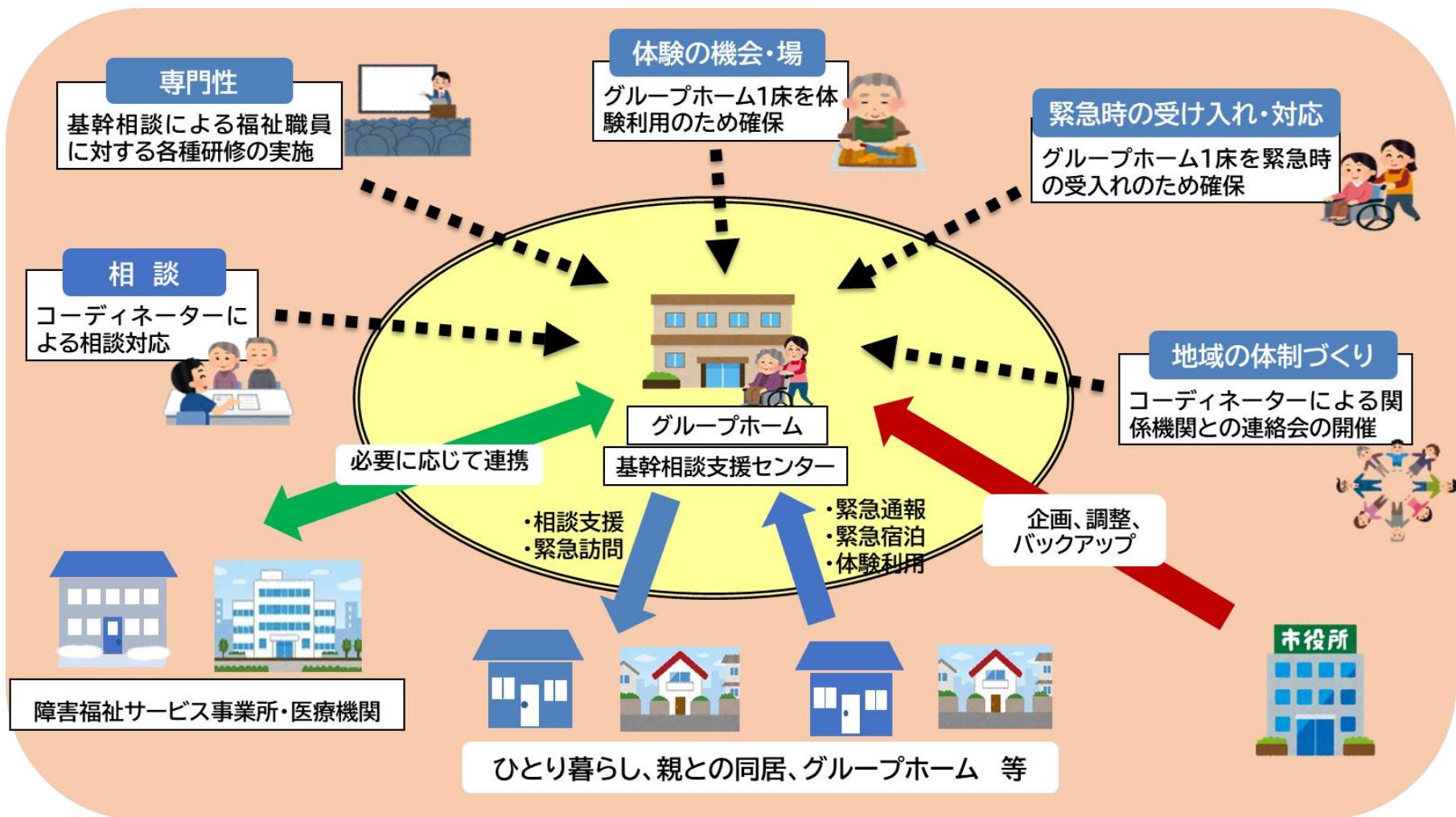
【傾向・特徴】

- 基幹相談支援センター受託法人に地域生活支援拠点事業を業務委託
- 基幹相談受託法人内の施設（GH等）の居室を確保し、基幹相談支援センター職員がコーディネーターとして相談対応
- 5つの機能を集約することで、ワンストップで相談から緊急対応まで可能
- 一方、委託法人内の居室を確保することで、受け入れ可能な種別が限定される

5 福井市障がい者地域生活支援拠点等事業について

②本市の地域生活支援拠点等について

【イメージ図】



5 福井市障がい者地域生活支援拠点等事業について

②本市の地域生活支援拠点等について

■面的整備型

【傾向・特徴】

- 事業所ごとに拠点登録を促し、地域における複数の機関が分担して機能を担う体制
- 専門性のある事業所（相談支援事業所も含む）それぞれが他の事業所と連携を図ることで、全障がい種別に対応が可能
- 拠点登録事業所は、報酬・加算等が算定可能となり、経営の安定に繋がる
- 地域資源の有効活用に繋がる

【イメージ図】



5 福井市障がい者地域生活支援拠点等事業について

③事業所登録について

1 運営規程の変更

拠点等の機能を担う事業所となる際に、運営規程にその旨の記載が必要。

2 届出書の提出

事前相談ののち、添付書類を添えて障がい福祉課へ届出書を提出。

3 登録

届出書を確認後、地域生活支援拠点等事業所名簿（事業所台帳含む）に登録し、地域生活支援拠点等事業者登録通知書を事業所へ送付。

また、登録した事業所はホームページにて公表する。

登録の流れ

